

平成 22 年度（第 3 回）

大垣市スポーツ振興審議会 会議録

▽日 時：平成 23 年 2 月 14 日（月）午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

▽場 所：（市役所北庁舎）教育委員会室

▽議 題：「大垣市スポーツ振興計画」の策定について

▽出席者（敬称略）

（委員）堤 俊彦＜会長＞

大石 毅、安田卓美、長谷川郁代、高橋美和子、牧野安孝、小川修司
早野正美【計：8 名】

（オブザーバー）宇佐見昭典（体育連盟事務局長）

（市及び事務局）

内田一之（大垣市教育長）、北村武久（教育委員会事務局長）、
坂喜美和（教育委員会庶務課長）、大山正行（社会教育スポーツ課長）、
守屋明彦（庶務課課長補佐）、伊藤充貴（社会教育スポーツ課）、
川合海乃留（社会教育スポーツ課）、近藤哲也（庶務課）【計：8 名】

▽欠席者（敬称略）

（委員）高橋正紀 臼井正明【計：2 名】

▽傍聴者：岩田 浩（本今町）【計：1 名】

<審議会開会>

（事務局）※開会にあたって

（会長へ議事進行をお願いするまでの間、議事進行）

<あいさつ> 審議会会長挨拶（略）

<議事進行については、大垣市スポーツ振興審議会設置条例第 6 条第 3 項の規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。>

（会長）

※欠席委員の報告

※審議会公開の報告

※事務局に対し、スポーツ振興計画（案）の変更点について、説明を依頼。

（事務局）

※「資料 1：大垣市スポーツ振興計画（案）」に基づき、説明（略）。

(会長)

時間をとるのもう一度読み返し、修正箇所、表記内容などでもいいので、ご意見、ご質問を、お願いしたい。

23 ページの図をわかりやすく、大きくできないか。

(事務局)

修正する。

(委員)

7 ページのFCヴィオーラのところに、字が残っている。

(委員)

19 ページの図も、わかりづらい。

体育振興会の名称を、「各校区の体育振興会」と統一できるとよい。

(委員)

7 ページは字が小さく、読みづらいので、大きくできないか。また、「2 年
期間で校区を指定し・・・」を「2 年ごとに校区を指定し・・・」にしてはど
うか。

(事務局)

そのほうが良いので、修正する。

(委員)

25 ページのコミュニティスポーツの振興の目標値 120 教室についてだが、
今年すでに 133 教室になった、と体連から聞いている。基準値を上げたほう
がよいのでは。

(アドバイザー)

133 教室は市と体連の両方が入っているのでは？ しかし、目標値は変え
ていく必要がある。

(委員)

他の団体の教室も含めると、もっと多くなる。

(事務局)

民間の教室や、体振などの活動はカウントしていない。

(委員)

基準値と目標値について、もう少し説明がほしい。

(事務局)

41 ページにあるように、市として審議会の中で評価していく予定である。また、教室の基準値を 21 年実績とするか、22 年とするか、決めなければならない。

(委員)

133 教室を確認してから、載せるべきではないか。

(会長)

事務局で最終決定ということではいいか？

(局長)

これは 21 年実績を基にしたの作成のため、基準値はそのままの 100 教室としたい。

(委員)

22 ページ、④の記述のとおり、体連実施の教室を基準にする方向でいいのではないか。

(会長)

次にパブリックコメントに移る。事務局から説明を。

(事務局)

※「資料 2：大垣市スポーツ振興計画(案)」に関するパブリックコメント結果について説明。

(会長)

意見、質問があればお願いしたい。

(委員)

キッズスクールの時間は 17 時 30 分～18 時 30 分だが、土日を開催することはできないのか。体育館にこだわると実施できなくなるので、他も含めて考えられないか。

(委員)

37 ページ、⑩のサポーターズ制度とはどういうものなのか？

(委員)

バンクへの登録は体連としては難しいと考えている。市のかかがやきには、

登録できるシステムがあるが、そういうものを考えているのか？

(委員)

個々でやるのではなく、他のものも一緒にしたデータベース化を図らないと難しいのではないか。

(委員)

他の課はそれぞれでデータバンクをもっていることが多い。それを一つにできると市民としてはわかりやすい。研修会も「継続」となっているが、具体的なものが出ないとよくわからない。

(委員)

やはり基本的なもののほうがよい。私の会社ではすでに動いている。もっと他の市町の情報を取り入れて、話ができるといいのではないか。そして、交流もしていくことでよりよいものができあがる。

(委員)

37 ページのコミュニティスポーツ（ヘルシーウォーク）は、他のものを扱っていく流れがある。体育振興会はどうしてもヘルシーウォークとなる。コミュニティスポーツとは、違う認識でよいのか？

(委員)

体連の中に体育振興会がある、と捉えるといいのではないか。

(委員)

昔、体連の中にも、各地域ごとにサポーターズバンクはあった。しかし、個人情報の関係でなくなってしまった。情報は体連にあるので、参考にするとういのではないか。

パブリックコメントの2について、指導者研修会は少年団で研修会をやっている。保護者からの声だと思うが、2日間の研修を実施している。

(委員)

パブリックコメントは2件だが、これは多いのか？

(事務局)

どの課も2件ずつくらい集まっている。

(委員)

もっと声を拾う方法を考えないといけないのでは。

(委員)

こういった形では少なく、普段の電話、来客としての直接的な意見のほうが多いのではないかな。

(会長)

体連にもあるのかな？

(アドバイザー)

ある。また、意見箱もおいて情報収集を行っている。

(会長)

その他、意見はないかな？

(委員)

写真を多く取り入れているが、もう少し枚数を多くし、表紙の写真は皆さんが見たときに惹きつけられるような、インパクトのあるものになるとよいのではないかな。許可もいるが、顔の写っているものがあるとよい。

(委員)

39 ページの学校教育活動については、体育教員自体が少ない。小学校22校中、1人もいない学校のほうが多い。アクションプラン 37にあるように、市と経済大との連携を図っていけるとよい。

(委員)

体育振興会の見直しとあるが、どういうことなのか聞かせてほしい。

(事務局)

数年前から実施している、校区体育振興会ごとの取り組みをさらに広げていきたいと考えている。

「見直し」ではなく、「充実」という表記に変更する。

(委員)

37 ページの表をもっと簡潔にしたらどうか。

(会長)

※熱心に意見を出していただいたことに対してのお礼。

(教育長)

最後の会であったが、出された内容を修正し、出していきたい。よりわかりやすくしていきたい。まだまだ具体的でない部分もあるので、他の団体と

協力して進めていきたい。

今後もいろいろな意見をお願いしたい。

<審議会閉会>